

岩手県立胆沢病院看護科研修計画

	対象	到達目標	研修内容
基礎研修	レベルⅠ (新卒採用看護師研修)	1. 助言を得てケアの受け手の状況(場)のニーズをとらえる 2. 助言を得ながら、安全な看護を実施する 3. 関係者と情報共有ができる 4. ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 5. 社会人・組織人としての自覚を持ち、看護職者として責任ある行動ができる 6. 看護に必要な知識について、主体的に学習できる	・新採用時オリエンテーション ・シャドウイング研修 ・技術研修Ⅰ(基本的看護技術等) ・技術研修Ⅱ(皮膚創傷ケア・摂食嚥下) ・技術研修Ⅲ(呼吸循環を整える) ・新人集合研修(年3回) ・OJTによる育成
	レベルⅠ (既卒新採用看護師研修)	1. 看護基準・手順に基づき看護技術を安全・確実に実践できる 2. 担当看護師としての実践能力を身につける 3. チーム医療における自らの役割を認識し看護実践できる	・新採用時オリエンテーション ・技術研修Ⅰ(基本的看護技術等) ・技術研修Ⅱ(皮膚創傷ケア・摂食嚥下) ・技術研修Ⅲ(呼吸循環を整える) (技術研修は希望により実施する) ・OJTによる育成
レベル研修	レベルⅡ	1. 事例検討の意義と重要性を理解できる 2. 看護理論を用いて看護過程を展開し発表できる 3. 対象とのかかわりを通して自己の看護を振り返ることができる	事例検討 ・看護理論を学び、日々の看護実践の根拠として活用し、受け持ち患者の看護過程の展開を実践
	レベルⅢ	1. ケアの受け手や状況の特性をとらえた看護実践ができる 2. 研究的姿勢を持ち取り組みができる 3. 受け持ち看護師としての役割ができる	【看護研究】 看護研究の基本を学ぶ ・文献検索 ・看護研究計画書作成、発表
		1. 新人がチームメンバーの一員として早くスタッフになじめるよう援助する 2. 新人の指導、支援を通し自己を成長させることができる	【フレッシュパートナー】について 【新人看護師の指導の現状・課題】について
	レベルⅣ	1. 患者の尊厳を尊重した看護介入が実践できる 2. ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	【臨床倫理研修】 ・認知症看護等を通し、倫理的視点で看護を展開 ・まとめ発表
		1. リーダーの役割について理解し行動できる 2. リーダーとしての責任と自覚を持ち、チームメンバーへの働きかけを行いながら、看護上の問題解決に取り組むことができる	【リーダーシップ】について ・部署の業務・教育・看護実践の問題を見出し、リーダーシップを発揮し看護実践 ・まとめ発表
レベルⅤ	1. ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえる 2. 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する 3. ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす 4. 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる 5. 組織の安全文化を培い向上させる役割ができる 6. 看護の質保証にむけ管理的思考と行動ができる	【多職種連携】について ・多職種と連携した業務・看護の実践 ・まとめ発表	
管理者研修	看護師長 看護師長補佐 主任看護師	看護管理者マネジメントラダーに沿って目標を定める	1. 看護師長・看護管理・診療報酬 2. 看護師長補佐・看護補助者教育 3. 主任看護師・働き続けたい職場環境づくり
専門研修	静脈注射研修	安全な静脈注射、輸液療法全般の実施および指導ができる	講義、講習
	部署外交流研修 (医療局入職2年以上)	1. 指導者と共に人工呼吸器の設定内容の確認 2. 指導者と共に警報アラーム作動時の原因チェックと対策 3. 指導者と共に人工呼吸器装着患者の観察と看護ケア	自部署で経験できない人工呼吸器装着重症患者の看護を学ぶ
	部署外交流研修 (医療局入職4年以上)	1. 指導者と共に救急外来看護ケアができる	自部署で経験できない救急外来患者の看護を学ぶ
総合	総看護師長講話	胆沢病院看護科の理念・目標が理解できる	「胆沢病院看護科理念・目標について」
	全職員対象	災害時の対応	DMAT隊員による災害研修 アクションカードを基に災害訓練
看護補助者研修	新採用 看護補助者	1. 胆沢病院看護科の組織を理解し日常業務実践ができる 2. 感染面に留意した日常業務実践ができる 3. 安全を考慮した看護補助者の業務実践ができる 4. 看護補助者として必要な看護補助業務を修得し実践できる 5. パソコンを利用して業務に必要な情報の収集ができる	1. 感染防止対策について 2. 医療安全について 3. 電子カルテの操作 4. 看護補助者業務
	看護補助者	1. 倫理的配慮に基づいた対応ができる 2. 看護チームの一員としての役割を認識できる 3. 基本的知識が理解でき安全に実践できる ・根拠に基づいた看護補助業務の実践ができる	1. 接遇 2. 耐圧分散寝具について 3. 医療安全(KYT・守秘義務・個人情報保護) 4. 感染管理(標準予防策・洗浄・消毒・環境整備) 5. 麻痺のある患者の移送・食事介助と口腔ケア
その他	中途採用・復職者研修	1. 胆沢病院看護科の組織を理解し、日常業務実践ができる 2. 皮膚・創傷ケアの知識を得て看護実践に活かすことができる 3. 感染面に留意した日常業務実践ができる 4. 安全を考慮して看護業務にあたり事故発生時の対処ができる 5. 電子カルテの操作ができる 6. 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な操作ができる	1. 皮膚・創傷ケア 2. 感染防止対策について 3. 医療安全について 4. 電子カルテの操作 5. 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作